

最近の朝鮮の観光業発展について

朝鮮社会科学院経済研究所研究員
ムン・ソン(文星)

世界各国との経済文化的協力と善隣友好関係を拡大、発展させることは、朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国政府が終始一貫して堅持している原則的立場である。最近、朝鮮において観光業を積極的に発展させるようにしていることも、その重要な一環となっている。

敬愛する最高指導者金正恩同志は、わが人民の物質文化生活が日々向上し、国の国際的権威が高くなり、対外関係が次々と拡大、発展するのに合わせて、国の各地に観光地区をよく整備し、観光を活発に行い、観光業を積極的に発展させることについて指導した。

金正恩同志は次のように述べた。

「対外経済関係を多角的に発展させ、元山—金剛山国際観光地帯をはじめとする経済開発区開発事業を積極的に推し進めていかなければなりません。」(「社会主義強国建設のために」第3巻7頁)

観光業を発展させることは、人々の自主的で創造的である物質文化情緒生活に対する要求を満たし、世界各国の人民との親善と団結を強化し、国の社会経済発展を促進することに貢献する。

本稿では、朝鮮民主主義人民共和国において、観光業の発展過程と観光発展の現実的条件と可能性についての分析に基づいて、最近朝鮮における観光地区開発事業と、観光テーマを多様化するための活動について紹介する。

1. 朝鮮民主主義人民共和国における観光業の発展過程

朝鮮において観光は、偉大な領袖金日成同志と偉大な指導者金正日同志の賢明な指導によって、歴史上初めて人民大衆のための真の観光に転換し、発展してきた。朝鮮民主主義人民共和国における観光業発展過程は大きく5段階に分けられる。

第一段階は、解放後の新祖国建設時期である。新祖国建設時期の朝鮮民主主義人民共和国において観光業は国内に局限されて行われた。

金日成主席は抗日革命闘争時期にすでに、わが国には朱乙(チュウル)温泉のような有名な温泉と鉱泉、名勝地が多いが、祖国を解放した後、このような所に休養所と療養所を建設し、人民たちが思う存分休息して、健康を増進するようにしなければならぬと頻りに述べた。そして国が解放された後に、新祖国の建設で模範を見せた労働者、農民のために、景色のいい所に休養所を整備し、労働者、農民が祖国の美しい自然景色を観光しながら思う存分休息するように述べた。

第二段階は、戦後復旧建設時期から1970年代までである。この時期、朝鮮民主主義人民共和国において観光事業は国内と社会主義国との範囲で行われた。

金日成主席は観光業発展のために戦後復旧発展が行われる中でも朝鮮民主主義人民共和国に訪朝する外国観光客に対する接遇、参観、サービス事業をはじめ、観光交流事業をしっかりと行うように述べた。朝鮮国際旅行社はソ連と中国をはじめとする社会主義国の国際旅行社と観光交流に関する協定と議定書を締結し、観光交流を行った。

社会主義国との観光交流事業が拡大するにつれて、朝鮮民主主義人民共和国では戦後から1960年代までに、戦争によって破壊された観光地を復旧し、観光サービス施設を新しく整備するための事業が活発に行われた。その結果、1970年代に入り、多くの観光サービス施設が新しく建設され、国際民用航空輸送条件がしっかりと整備されるようになった。

朝鮮において観光業発展の第三段階は、1980年代から1990年代初までである。1980年代は朝鮮において新しい国家観光管理体系が樹立し、対外観光市場が

拡大した重要な時期だった。

偉大なチュチェ思想を創始し、自立的民族経済に基づいた社会主義経済の飛躍的な発展を成し遂げた金日成主席に対する限りない敬慕の心を抱き、世界各国の多くの人々が朝鮮民主主義人民共和国に訪れ、その数は日を追うごとに増えていった。金日成主席と金正日総書記は、数多くの外国人が訪れ、外国との対外関係が拡大するに合わせて、観光業を専門的に担当する政府級の観光機関を取り入れるよう、国の観光事業に対する統一的な指導体系を築いた。それ以降、社会主義国に局限していた朝鮮民主主義人民共和国の対外観光市場は、資本主義国にも拡大するようになった。世界的な観光発展趨勢に合わせて、観光業をさらに発展させるため、朝鮮民主主義人民共和国は、1987年9月に開かれた国連世界観光機関(WTO)第7回総会でメンバーとして正式に加入し、この時から朝鮮民主主義人民共和国と世界各国との観光交流がさらに活発に広がるようになった。

朝鮮において観光業発展の第四段階は、1990年代中半期から2000年代までである。金正日総書記は、先軍時代の要求と観光発展の世界的趨勢に合わせて、観光を組織化し、観光を通じて環境汚染を防ぐことについて指導し、そのための闘争を賢明に導いた。

金正日総書記は人民軍軍人と人民が新しく開発、整備した七宝山遊園地、九月山遊園地、龍門大窟、松岩洞窟、ウルリム瀑布(響きの滝)など、各観光地を現地指導しながら、国の観光業が進んでいく方向と方途を明示した。1989年と2003年に朝鮮民主主義人民共和国では国家的な観光規定が制定され、観光業において制度と秩序をさらに徹底して確立するようになった。

朝鮮において観光業発展の第五段階は2010年代以降の時期である。この時

期、朝鮮で観光業は金正恩同志の賢明な指導と遠大な構想に基づき、新たに高い段階に昇り、大きな発展へと転換するきっかけとなった。

金正恩同志は、朝鮮労働党第7回大会や2015年と19年の新年の辞をはじめとする数々の発言の中で、観光を活発に組織し、観光地を最上の水準で完工することについて教示し、また自ら各観光地区と観光地を現地視察しながら、国の観光業をさらに拡大、発展させるための事業を賢明に指導した。その結果、朝鮮民主主義人民共和国では国の豊富な観光資源を開発し、観光地区を世界観光業発展趨勢と人民の志向に合わせて、最上の水準で整備するための事業が活発に行われた。最近数年の間にも数多くの観光地と観光資源が開発され、観光業発展のための立派な土台が築かれた。

2. 朝鮮民主主義人民共和国における観光業発展の現実的な可能性

わが共和国の自主権を尊重し、友好的に向き合う世界の進歩的な国々との善隣友好関係、親善協調関係を積極的に発展させていくことは、朝鮮労働党と朝鮮民主主義人民共和国政府の一貫した政策である。朝鮮は、国の尊厳と利益に抵触しない限り、対外関係を能動的に、多角的に発展させている。

観光業を発展させていくためには、人的、物的資源と観光地が整備されていなければならないし、観光の需要がなければならぬ。

第一に、朝鮮民主主義人民共和国には観光業を発展させていく対象が非常に多い。観光業を発展させるには、観光客が見たいと思う観光地が多くなければならない。観光地が多ければ多いほど、それだけ観光客が多く訪れるようになり、観光業を発展させていく有利な条件が生まれる。朝鮮には平壤市と平安北道香山郡、両江道恵山市と大紅湍郡、江原道元山市と金剛山、開城市をはじめとして各地に観光地が多い。世界的に広く知られた名勝地、名所と古い歴史の遺跡、遺物が多く、観光業発展のため金日成同志と金正日同志、金

正恩同志の遠大な構想によって観光地を多く整備し、観光サービス施設を十分に取揃えて観光を活発に進めてきた。

朝鮮民主主義人民共和国の主要な観光地は次のとおりである。朝鮮には有名な山として6大名山である白頭山、金剛山、妙香山、九月山、七宝山、智異山と共に大城山、龍岳山、正方山、冠帽峰、五佳山、赴戦高原、東興山、薬山東台、景岩山、長寿山、首陽山などがある。海岸の名勝地としては、松濤園、明砂十里、麻田、俗厚、青丹、奇巖、学士台、臥牛島、夢金浦などがあり、有名な河川や湖として、大同江、普通江、石潭九曲、水豊湖、延豊湖、瑞興湖、台城湖があり、地下名勝地としては、龍門大窟、百嶺大窟、松岩洞窟、金剛窟などがある。その他、万景台革命史跡地、百頭山密営戦跡地、三池淵革命戦跡地など、革命史跡地と革命戦跡地があり、朝鮮革命博物館、党創建史跡館など、革命博物館と革命史跡館があり、主体思想塔、凱旋門、国際親善展覧館、人民大学習堂、人民文化宮殿、メーデースタジアム、平壤高麗ホテル、万景台学生少年宮殿など、数多くの記念碑的建築物がある。

建築に才能がある金正恩同志の賢明な指導の下、最近数年の間、朝鮮では世界を驚かす建設神話を創造し、建築の造形化、芸術化が保障された倉田通り、万寿台通り、馬息嶺スキー場、紋繡遊泳場、綾羅人民遊園地、美林乗馬クラブ、玉流児童病院、人民劇場、柳京歯科病院、未来科学者通り、平壤国際空港の旅客ターミナル、黎明通りなど、数多くの時代の記念碑的な建築物が新しく建設され、改築、拡張された。

朝鮮には、朝鮮歴史博物館、檀君陵、東明王陵、練光亭、大マスゲームと芸術公演「人民の国」、「4月の春親善芸術祝典」、万景台賞国際マラソン大会、大黃牛賞全国民族シルム競技大会、民俗舞踊「鳳山タルチュム」、民謡「アリラン」、民族美術の朝鮮画、朝鮮民族の伝統武道のテコンドー、民俗遊びのシルム、ユンノリ、こま回し、民族料理である「平壤冷麵」、キムチ、民族服の朝鮮チマチョゴリとパジチョゴリ、民族医学である高麗医学など、歴史文化的観光対象が数多くある。その他、気候観光資源、動植物生息地、治療観光資源

などをはじめ、数多くの観光資源がある。

第二に、朝鮮民主主義人民共和国には観光業を発展させる物的資源がしっかりと整っている。観光業を発展させていくには、ホテル、娯楽施設、釣り堀などサービス基地と観光客の便宜を図る食料品、日用品、記念品、体育器材など、観光サービス用の物的条件が取り揃えられていなければならない。

朝鮮民主主義人民共和国には、観光業を発展させていく経済的土台が築かれている。特に朝鮮では、地域の平和と安全を頼もしく保障しながら経済強国建設に総力を結集し、どんな世界的な経済波動にも屈しない朝鮮式の経済土台を構築している。江原道をはじめ、各地には観光客の便宜を保障するさまざまな食料加工品、日用品、記念品、体育器材などがしっかりと生産、保障されている。

朝鮮民主主義人民共和国は、国内外観光客の便宜を十分に保障できるように、さまざまな規模と水準の観光ホテルも十分に整えている。大型ホテル、中型ホテル、小型ホテルなど、多様な規模のホテルがあり、多くの観光客を受け入れる能力が整えられている。大型ホテルは客室が500室以上あるホテルで、羊角島国際ホテルがある。中型ホテルは客室が300～500室のホテルで、平壤高麗ホテル、西山ホテル、青年ホテル、両江ホテル、香山ホテルなどがある。小型ホテルは客室が300室以下のホテルで、普通江ホテル、平壤ホテル、解放山ホテル、開城民俗旅館、松濤園ホテル、金剛山ホテル、南浦港口旅館、ペゲボンホテルなどがある。

そしてさまざまな等級のホテルがあり、観光客が自分の需要と予算に合わせて、ホテルが利用できるようにしている。現在、朝鮮民主主義人民共和国で特級ホテルには、平壤高麗ホテル、羊角島国際ホテル、香山ホテルが、1級ホテルには、普通江ホテル、青年ホテル、両江ホテル、西山ホテル、金剛山ホテルが、2級ホテルには、平壤ホテル、松濤園ホテルなどが、3級ホテルには、解放山ホテル、開城民俗旅館、ペゲボンホテルなどがある。

第三に、朝鮮民主主義人民共和国には観光業を発展させる人的資源が十分に取揃えられている。朝鮮民主主義人

民共和国には朝鮮国際観光旅行社をはじめとする観光サービス機関に観光事業を組織して執行する職員、観光案内を担当する職員、ホテルを運営し、宿泊客に十分なサービスができる従業員をはじめ、観光業を発展させていく人的資源が十分に準備されている。そして平壤観光大学、平壤外国語大学をはじめとする各大学で有能な人材を育てている。

第四に、国際的に朝鮮民主主義人民共和国に対する観光需要も継続して増えている。観光業を発展させるには、当該対象に対する観光客の需要の存否が非常に重要である。朝鮮は五千年の悠久な歴史と文化をもっている国、人民が主人になった国、帝国連合勢力の孤立圧殺策動の中でも社会主義の赤旗を変換することなく守りながら、社会主義強国建設の最後勝利に向けて力強く進んでいく国、世界に真の平和と安全を守護し、世界の自主化のために力強く闘争していく国として、世界の人々に驚きと驚嘆を呼び起こしている。その結果、世界各国の人々の中で朝鮮に来て、観光をしようとする需要が高まっており、現実的にいま、多くの国の観光客が朝鮮に観光に来ている。

これらすべてが朝鮮民主主義人民共和国に観光業を発展させることができる現実的な可能性が十分に取り揃えられていることを証明している。

3. 最近の朝鮮における観光地区の開発

今日、朝鮮民主主義人民共和国では、金正恩同志の構想に基づき、観光業を発展させるための活動が力強く拡大しており、数多くの観光地区が開発されている。

数多くの観光地区と観光開発区に対する開発事業が力強く行われている。なかでも国家的に元山—金剛山国際観光地帯を開発するための事業が力強く広がっている。世界的な観光地に変貌している元山地区と朝鮮の名山である金剛山をはじめとする東海名勝地に対する国際的な観光をさらに活性化するための国家的措置によって、創設された元山—金剛山国際観光地帯は6つの地区である元山地区、金剛山地区、通川地区、釈王寺地区、馬

息嶺地区、ウルリム瀑布地区とに分けて開発している。

特に元山葛麻海岸観光地区を世界的な観光地区に立ち上げるための建設が本格的に行われている。金正恩同志は、2018年5月と8月、10月、2019年4月をはじめ、数回にかけて元山葛麻海岸観光地区建設場を視察し、世界に二つとない観光地区として立派に整備することについて指導した。

したがって、元山葛麻海岸観光地区を参観、遊覧、探勝、スポーツ、娯楽などの多様な観光活動ができる現代的な海岸観光都市として建設するための活動が全国的、全社会的な支援と関心の中、積極的に推し進められている。

その面積が数百余町歩に達する元山葛麻海岸観光地区に、東海の名勝である明砂十里の浜辺に沿って、海岸広場区域と休養区域1、2が開発されているのははじめ、観光地区の建設が非常に大きな規模で行われている。特に、休養区域2に位置する民族文化体験区には高麗医院、朝鮮書房、朝鮮の伝統衣服店、テコンドー道場、弓道場など、朝鮮民主主義人民共和国の民族文化と伝統を自慢する建築物が開発されている。

元山葛麻海岸観光地区には、数千余名の観光客を受容できる5つ星ホテル2棟、3つ星ホテル10棟、海の真ん中にある船形のホテル1棟を含め、ホテルだけでも13棟が開発されている。そして多くの民宿、水上浮遊式パネル宿舎、各種サービス網が開発され、室内プール、野外ステージをはじめとする数多くの建築物が自然環境とよく合いながらも、宿泊施設の特性と受容能力に即し、開発されている。

元山葛麻海岸観光地区のみならず、最近、平安南道陽徳郡に病気の治療と観光休息もできる総合的で現代的なモデルの温泉観光地区が開発されている。金正恩同志は2018年8月と10月、19年4月と8月、10月、11月に同地を視察し、温泉観光地区を総合的な療養及び文化休養地区として立派に開発することについて指導した。

同地区には大きな総合旅館とその周辺に自炊宿舎と各種現代的な総合サービス施設が開発され、野外温泉も入れるように室内風呂のみならず、露天風呂も整備し、

家族風呂、大浴場、治療風呂など、各種の温泉浴サービスができるように整備される予定である。

陽徳郡を独特な総合的なスポーツ文化休養地、療養治療の拠点として変貌させようとする朝鮮労働党の遠大な構想によって建設が力強く広げられ、短い期間に建物の骨組み工事と、屋根を被せる工事、内外装美装工事が終了し、スキー場走路と道路新設、水路工事が基本的に完成することによって、昔の姿が分からなくなるほど変化し、現代的な温泉観光地区の雄大な姿が現れた。

19年8月末建設場を現地指導した金正恩同志は、党で構想した通り自然的な特性をよく生かし、周辺環境と精巧に交わる特色ある観光地区が形成したと満足しながら、区画区分と配置が実用的であり、建物ごとに建築美学的にも遜色がないと評価した。

現在、陽徳郡の温泉観光地区では温泉休養と療養施設に対する運営とサービス準備をしっかり行っており、スキー場のスポーツ器材保障対策を徹底的に設置し、同地を訪れる人民に少しでも不便がないように建物の工事を実的に仕上げるための活動が推し進められている。

朝鮮では、また咸鏡南道利原郡塩盆津地区を特色ある海洋公園として立派に整備するための仕上げ段階で進められている。塩盆津は海と景色が、ひととき美しく、鉄道と海路、道路が近くにあって、交通の便が良いだけに人民たちがいつでも訪れて、文化休息をするにはこの上なく理想的な所である。同地区では、現在ホテルの建物を中心に海岸に沿って600m区間に多様な形態と用途の海洋公園宿舎と商業施設の建設が本格的に行われている。

そして咸鏡北道鏡城郡にある温堡勤労者休養所も人民たちが休養に訪れて、十分な休息を取り、温泉治療もできるようにすべてのサービス網を全部取り揃えた総合サービスの拠点、治療サービスの拠点として立派に建設されている。

その他、革命伝統教養の大拠点である朝鮮革命博物館と清水観光開発区、茂峰国際観光特区など、観光開発区をはじめ、各観光地が新しく開発されたり、現代的にさらに立派に改築されたりし、国の観

光業を積極的に発展させていくことに対して大きな役割を担当することになる。

4. 観光テーマを多様化するための活動

朝鮮民主主義人民共和国では、国の各地域に観光地区を整え、観光インフラを完備し、観光従事者を大々的に養成する事業を力強く推進する活動と共に観光業発展の条件と可能性を最大限効果的に利用し、世界的な観光発展趨勢に合わせ、観光を活発に広げていくためのさまざまな対策を取っている。

以下、現在国際的にますます多様化されている観光形式とその実現のための朝鮮の活動についてテーマ別に述べる。

会議観光

こんにち世界の多くの国では、政治、経済、文化、商業、貿易、環境など、さまざまな形態の世界的または地域的な国際会議と国内の部門別会議を季節に関係なく、さまざまな場所で行いながら航路運行とホテル宿泊、観光地運営の利用率を高めている。現在、朝鮮には観光をしながらさまざまな規模の国際的な会議や討論会、各種部門別の会議を行える条件が十分に取揃えられている。

したがって、国際機構や外国人が朝鮮に訪れて観光をしながら、自らさまざまな形態の会議を行うと提議する場合、人民文化宮殿や人民大学習堂などを利用し会議観光をするようにしている。

スポーツ観光

現在、世界の多くの国と地域ではさまざまな形態の世界的、国際的、地域的なスポーツ大会が季節に関係なく行われながら、競技観覧のために多くの観光客が移動しており、スポーツ愛好家もお互い行き来しながら大衆スポーツ活動を広げている。

現在、アジアとヨーロッパをはじめ、世界各国のクラブで選手生活をしているバスケットボール、バレーボール、サッカーなど、各種スポーツ種目の選手たちと大衆スポーツ活動に参加しているスポーツ愛好家は、朝鮮に観光に訪れた際に、朝鮮のスポーツ選手や関連部門の活動家との競技を行

うことに大きな興味を持っているようである。そして外国の旅行社とスポーツ愛好家の間では、毎年4月平壤で行われる万景台賞国際マラソン競技大会がヨーロッパと中国をはじめとする世界各国のマラソン愛好家の間で広く知られているとしながら、この競技に参加することを希望しているということである。

したがって、朝鮮では外国のスポーツ愛好家が観光を目的に訪朝し、朝鮮のスポーツ選手と競技をしようとする場合、彼らのレベルに合わせて、柳京鄭周永体育館と青春通りをはじめとする平壤市内の競技場、競技館で国内の各体育団の選手、体育及び観光部門の活動家とも競技が行えるようにしている。

そして毎年行われている万景台賞国際マラソン競技大会や秋季マラソン愛好家競技大会に世界各国のマラソン愛好家も参加させ、彼らのための競技をマラソン、ハーフマラソン、10キロ、5キロマラソンに分けて参加してもらっている。それだけではなく、平壤市と羅先市をはじめとする各地域では、さまざまな形式の体育観光祝典や体育行事を組織し、これらを通じて国際間のスポーツ分野と観光分野での協調と交流を強化している。

買い物観光

世界的に買い物専門観光が多く行われており、特にクリスマス、お正月、国慶節など、さまざまな機会を捉えて、値段を大幅に値下げして観光客を引き寄せている。現在、各国と地域から訪れる数多くの観光客の中では朝鮮で生産した陶磁器、美術作品、医薬品、工業品をはじめとする各種の記念品に対する需要が高い。これに合わせて、朝鮮では大城百貨店、平壤第一百貨店、光復地区商業中心、平壤駅前百貨店をはじめとする平壤市と地方の商店では観光客に必要な物が買えるようにしている。

そして平壤をはじめとする都市と主要観光地に国産、または外国の企業体と合弁、合作の方法で大きな規模の観光記念品商店、観光記念品生産基地を整備し、買い物観光を観光客の需要と嗜好に合わせて行えるような事業も進めている。今すぐ国内生産が難しく、観光客の間で需要

が高い記念品と国際的な人気商品、嗜好品は外国から取り寄せが出来るように対策も考えている。

健康及び治療観光

現在国際的に温泉浴、泥浴など、健康及び治療観光が競争的に行われており、ヨーロッパと東南アジア地域の人々も多く訪ねている。朝鮮では七宝山地区、鏡城、信川、三泉など、至る所に温泉があり、江原道通川郡の侍中湖濁湖に泥風呂の場所がある。朝鮮では温泉がある地域をすべて開発し、温泉浴を専門にする観光地として造って、温泉観光を大きく広げようとしている。

今まで国内においてわが人民の治療と観光に多く利用する咸鏡北道鏡城郡の上温堡地区と黄海南道三泉郡の達泉温泉地区を外国の観光客にもサービスするための活動も広く行われている。平安南道温泉郡、三泉郡達泉里、鏡城郡の上温堡、咸鏡北道明川郡郡と黄津里、両江道普天郡の温水坪、江原道通川郡侍中湖濁湖をはじめとする地域に一度に数千名の観光客を受け入れ、サービスできる温泉ホテル、室内温泉風呂場、露天風呂、泥風呂などを整備するための事業が広げられている。

自転車観光

今世界的に自転車観光が多く行われており、観光客は自ら持ってきた自転車や該当地域でレンタルした自転車に乗って、観光地の中を旅行している。

朝鮮では、自転車愛好家が平壤一元山、元山一高城、元山一咸興、平壤一南浦、漁郎一七宝山等の区間や、百頭山地区、七宝山地区で組織的に自転車に乗って旅行したり、観光したりするようにし、平壤市と地方でも自転車に乗れるようになっている区間で観光地の間を自転車で旅行できるようにしている。

労働体験観光

中国とロシア、ヨーロッパの観光客の中には、朝鮮に駐在する外交職員たちがわが協同農場と建設現場に行き、仕事しながら支援事業をするように、自分たちも田植えの時期、田の草取り時期、収穫の時期

に農場に行って、農場員たちを手伝って農作業もしてみ、建設現場に行き、労働者たちと一緒に労働もしてみる肉体的労働体験観光を計画してくれるとよいという意見が多く提起されている。したがって、観光客が訪朝した機会に半日、または一日協同農場、牧場、果樹農場などで、人民たちと一緒に田植え、田の草取り、秋の収穫、果樹の手入れ、果実摘みなどの労働生活を体験し、穀物や野菜、果物、家畜の飼育の生育方法についての解説を聴取し、その地元で収穫した穀物、野菜、肉、果物などを現地で調理し、人民たちと食事と一緒にするようにしている。

民俗文化及び生活体験観光

外国の観光地の中には、その国で観光をしながら、その国の人民の生活文化を直接体験できるような民俗文化及び生活体験観光が広く行われている。朝鮮では観光客が朝鮮の民俗文化と生活体験が直接できるように平壤と地方で該当地域サービス単位の特性と条件に合わせて、

餅つき、麵作り、キムチ作り、チヂミ作り、朝鮮ハマグリ焼きなど、料理をわれわれ人民たちに手伝ってもらいながら直接調理してみる朝鮮料理文化体験観光を組織している。

毎年行われている民族シルム大会の季節に観光客が現地で競技も観覧し、われわれ選手、勤労者と直接シルムを試してみるようにしている。世界的に有名なアスリートの家庭訪問を組織し、観光客が家庭の特性と嗜好に合わせ、その家の婦人と一緒に料理も作って、食事と一緒にしながら朝鮮の家庭文化生活を体験するようにしている。

最近では観光客が平壤で市内トロリーバスや市電、地下鉄に乗って市内を見物するようにしている。この他にも世界的に登山及びテント宿泊観光、ヘリコプター旋回観光、釣り観光、建築愛好家観光などが観光客に人気を集めており、各種形態の芸術文化祝典を繰り広げて観光客を受け入れる芸術文化観光などが、活発に行われている。

これに関連して、世界各国の多くの旅行社と観光客からさまざまな形態の観光に対する要求が続けて提起されている。したがって、朝鮮では観光業発展の国際的な趨勢と現実的可能性に合わせて観光活動を活発に行っており、今後も条件が整い次第、各種多様なテーマと形式の観光をさらに開発、推進していこうとしている。

このように今日、朝鮮民主主義人民共和国では国の全般的な地域において観光地を新しく開発したり更新のための事業、観光サービス施設を現代化したり、改築するための活動が活発に進められており、観光業が社会主義制度の本性的特性と世界観光発展趨勢に合わせ、さらに発展、完成している。

金正恩同志の賢明な指導に基づき、日々発展する朝鮮の観光業は世界各国の人民との親善と団結をさらに強化し、わが人民の文明な生活条件を保障するのに積極的に貢献するであろう。

[朝鮮語原稿をERINAにて翻訳]